



《将来に向けた取組方針》

住友重機械グループでは、生物多様性方針を策定しており、環境方針において積極的・能動的に取り組む項目の一つとして生物多様性の保全を挙げている。

将来に向けた取り組みとして以下の項目を推進している。

- ・気候変動対応への取り組み
- ・サーキュラーエコノミーへの対応
- ・製造所内の緑地の管理、植樹の推進

《代表的な取り組み事例、今後の取り組み》

- ① **生物多様性方針** 2009年10月に生物多様性方針を策定し、以下の項目を挙げて取り組んでいる。
 - ・地球温暖化防止活動
 - ・資源循環型経営（省資源、省エネ、3R）
 - ・製造所内に植樹・植栽
- ② **田無製造所 発想の森**

田無製造所の敷地面積の30%を占める武蔵野の森を保存している。
森の一部は「発想の森」と名付けて一般に開放して市民のやすらぎの場所となっているとともに、地域の防災拠点や職業訓練の場所の提供、生物多様性に関する学術研究対象の機能を果たしている。
- ③ **木材梱包の削減** LIME 2による分析を行い、当社Gで生物多様性に影響のある木材梱包の削減に取り組んでいる。
- ④ **国内取り組み支援** 公益財団法人オイスカの「富士山の森づくりプロジェクト」に対して寄付と従業員参加による育林活動を行っている。
- ⑤ **気候変動対応** (地球温暖化防止活動)
環境配慮製品の対象を増やして商品使用時CO₂排出量把握を拡大し、削減貢献量を増大させることでライフサイクルにおけるCO₂排出量の削減に取り組んでいく。
エネルギー生産性向上の目標に加え、今後はCO₂排出量の総量削減目標を設けて活動していく。
- ⑥ **海洋プラスチック問題** 海洋プラスチック問題に対する貢献活動に取り組んでいく。